

第三次行政改革大綱【平成28～令和2年度（2016～2020年度）】

◎基本理念「ひとの創生、地域の創生」を推進する湖南省の実現

第1の視点「協働・連携の視点」

第2の視点「市民主体の視点」

第3の視点「行財政改革の視点」

第1の柱 税の更なる有効活用

1. 公共施設等総合管理計画の着実な実行
2. 事務事業の見直し
3. 継続的な歳出抑制
4. 民間活力の積極的な導入
5. 安定した財政基盤の確保

第2の柱 「自主財源の確保と公平な受益者負担」

1. 徴収率の向上と収入の確保
2. 産業振興と企業誘致の推進
3. 受益者負担の適正化

第3の柱 「市民主体の仕組みづくり」

1. 公民連携に基づく市民協働の推進
2. 様々な連携による新たな取組の推進
3. 透明度の高い市政運営
4. 市民志向・成果の重視の行政運営
5. 定員管理の適正化と人材育成

第四次行政改革大綱【令和3年度～7年度（2021～2025年度）】

◎基本理念「地域力・デジタル化・経営力の向上を目指して」
～新しい時代に即した行財政改革の推進～

第1の政策

市民主体の透明性の
あるまちづくり
～市民参画と情報共有～

1) 様々なコミュニティとの連携

2) 市政情報の積極的な共有

第2の政策

デジタル社会の
推進
～スマート自治体
への転換～

1) 情報通信技術（ICT）の積極的な活用

2) 社会生活へのデジタル化の推進

第3の政策

効率的・効果的な
行財政運営
～従来の改革の継続と
新たな改革～

1) 事務の効率化の推進

2) 公共施設等総合管理計画の着実な実行

3) 受益者負担および補助金・負担金の適正化

4) 広域連携の推進

5) 財政の健全化